

価値共創リテラーへ、 1つになる。

3つの価値



人口減少社会に入った日本。社会の成熟化とは、大量生産・大量消費の終焉でもあります。情報やモノがあふれ、それらが次々にアップデートされることで、くらしは豊かになりました。一方で、価値観や嗜好、ライフスタイルの多様化に伴い、市場の細分化も顕著に進んでいます。消費の原動力として「推し」が様々なジャンルで現れてきたのもその特徴のひとつでしょう。大事なことは、お客様ともっとつながり、プロセスや体験をも共有し、こころの体温を上げる、つまりワクワクにつながる仕組みを作り上げることです。私たちはお客様と、そして従業員と一緒に感動を生み出し、分かち合う企業を目指します。



街は、生態系。事業が、機能が、エリアで重層的に拡張し、人が集まる。それぞれが互いに影響し合い、刺激し合って地域に息吹を吹き込んでいきます。私たちのコアビジネスは地域に根差したリテールが原点です。地域とのつながり、ネットワークを大切にし、ともに栄えることを志向するのは当社ビジネスの根幹であると言えます。一方で、リテールが陥りやすい課題は同質化。つまり、今後はローカルティが強みをつくるひとつキーワードになるかもしれません。特に当社が重点7都市と位置づけたエリアには注目です。そこには、可能性しかないと言ってもいいでしょう。私たちは地域にとって必要不可欠な企業を目指します。



日本だけでなく、世界で毎年のように発生する異常気象。これまで「異常」とある意味、高を括っていたことが、もはや「日常」になりつつあります。リテールがコアであるという事業特性からすれば、環境課題に向き合っていることは限られたものかもしれません。しかし、私たちはサプライチェーンにおいてより多くのお客様やサプライヤーとのつながりを持つのも特徴です。そうしたつながりを活かして、働きかける、あるいは一緒に取り組めることも少なくないはずです。気候変動は社会全体で「自分ごと」としなければならない課題です。私たちは環境課題に直結する事業に取り組む企業を目指します。

3つのシナジー



当社グループの特徴であり、強みであるのは全国の主要都市に百貨店の大丸、松坂屋とショッピングセンターのパルコをバランスよく配置していることです。特に、札幌、東京、名古屋、京都、大阪、神戸、福岡の重点7都市においては、各店舗の展開に加え、周辺に開発可能な資産を保有しています。昨年度からの中期計画では、後ほど詳細を説明する通り、まず名古屋・栄エリアのシナジーを具現化しますが、そうした大きなポテンシャルのあるエリアを7つ持ち、多様なリテール事業を展開していることが当社の強みであり、他社にはない独自の戦い方であると言えます。



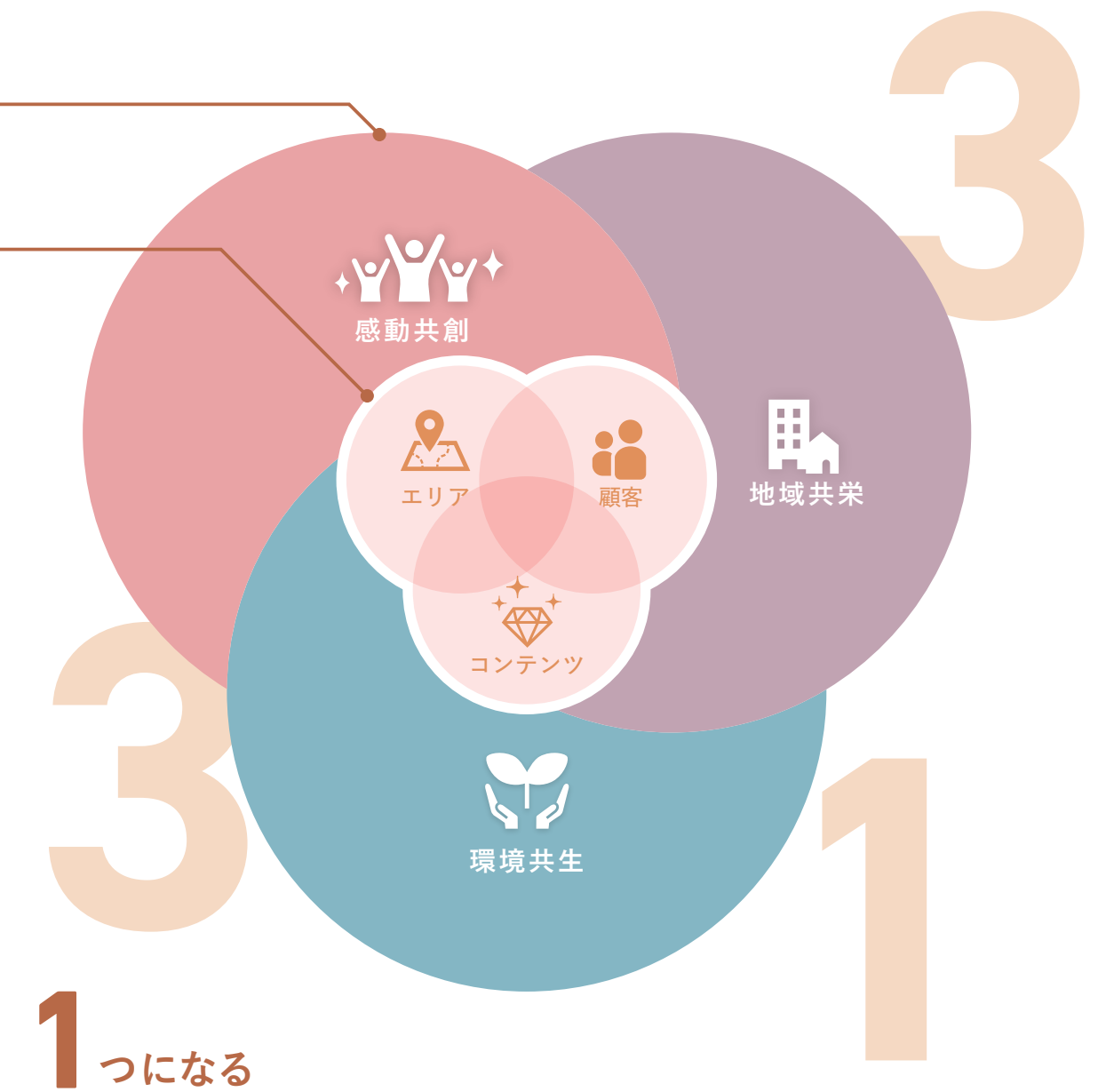
百貨店の大丸と松坂屋はプライムな商品とサービスを提供することを得意とし、一方でパルコは新たなエンタメやカルチャーの発掘を通じて若年層へのアプローチに長けているという特徴を有しています。心斎橋エリアでは、こうした異質な構成の両店舗が顧客回遊を活性化させ、地域に新たな価値を創出しています。今後はこうした優良な顧客基盤の深耕に加え、海外顧客やMZ世代など新たな顧客とのつながりを強化していきます。店舗や事業会社、地域を越えてお客様とつながり、生涯を通じて選ばれるパートナーであり続けることを目指します。



グループの持続的な成長実現に向けては、リテール事業において新たなビジネスモデルを実装していくことが必須だと考えています。当社グループには、大丸、松坂屋、およびパルコでそれぞれ培ってきた目利き力や調達力、また各地域でのつながりやお取引先様、クリエイターとのネットワークがあります。これらをグループとして本格的に融合し、コンテンツの開発と保有を推進していきます。成長投資枠の活用を通じたM&Aなども含めて当社グループ自体がコンテンツを持つことで、“実店舗の床面積に制約されない新たな成長事業”の実現につなげていきます。

2030年に向け、当社グループが社会から求められる存在であり続けるために大切にしなければならないもの—それは、3つの価値、3つのシナジー、そしてグループがあらためて1つになることだと考えています。

これらを通じ、国内外の『高質・高揚消費層』すなわち、自身のこだわりや価値観を満たす、高質で心が高揚する消費や体験を嗜好する全ての生活者から圧倒的な支持を得て、3つの共通価値を提供し続ける「価値共創リテラーグループ」へ進化していきます。



グループが持つ本来のポテンシャルをフルに引き出すため、改めてグループがひとつになるということを意識し、実践します。特に、シナジー効果の最大化には、グループ人財の融合が極めて重要です。人財への投資も積極的に進めます。社員は最も重要な価値共創パートナーです。Willを持った社員が会社のリソースを使って自分のやりたいことを実現し、会社の成長につながるサイクルを作っていきます。

また、グループの基盤となる仕組みの共通化、一元化の範囲を拡大します。そのひとつは、カード統合です。これまで、グループ各社で複数のインシュアーにより発行されていたPARCOカードや

GINZA SIXカード、博多大丸カードをいよいよJFRカードに一元化しました。もうひとつは、グループ全体での業務システムの統合です。会計システム、決済システム、グループウェアと人事システムをグループ全体で共通化することにより、事業会社間の連携とともに、社内外コミュニケーションの活性化を促進していきます。

事業会社、個人それぞれが、多様性を活かし、個性を磨き、時には枠を越えながらも、目線は合わせることで1つになる。私たちは個性の強いワンチームとなって、変化が絶えない時代といつも向き合い、社会になくてはならない存在として、くらしの「あたらしい幸せ」を発明していきたいと考えています。